

●令和2年度3月卒業

能勢分校1期生 進路状況

卒業生数 合計28名（男18名 女10名）

	能勢分校1期生 (人数・割合)		66期生 (能勢高校)		65期生		64期生	
四年制大学	9人	32%	6人	14%	7人	12%	9人	20%
短期大学	1人	3.5%	4人	10%	4人	7%	7人	15%
専門・各種学校 (看護学校)	9人	32%	18人	44%	21人	37%	14人	31%
就職	8人	29%	9人	22%	19人	33%	12人	27%
その他	1人	3.5%	4人	10%	6人	11%	3人	7%
卒業生数	28人	100%	41人	100%	57人	100%	45人	100%

【能勢分校1期生進路結果】

合格四年制大学

関西学院大学（総合政策学部）、京都女子大学（現代社会学部）、
京都先端科学大学（バイオ環境学部）、追手門学院大学（国際教養学部）、
近畿大学（国際学部）（法学部）、摂南大学（外国語学部）、大阪青山大学（健康科学部）、
大手前大学（建築学部）、大阪学院大学（情報学部）、大阪電気通信大学（情報通信工学部）

合格短大 東洋食品工業短期大学

合格専門学校

京都建築大学校、神戸動植物環境専門学校、大阪医療秘書福祉専門学校、
関西医科専門学校、大阪情報コンピューター専門学校、大阪ペピィ動物看護専門学校、
大阪ベルエール美容専門学校、代々木アニメーション学院、
大阪ハイテクノロジー専門学校

おもな就職先

自衛隊、島田工業、日本郵便、福德自動車工業、豊悠福祉会など



豊中高校能勢分校 4期生が入学しました

4月7日（水）、第4回能勢分校入学式を行い、27名が新しいメンバーの一員として加わりました。新入生の皆さん、おめでとうございます！多くの保護者に参加いただき、新しい門出を祝っていただきました。今年度は約半数の生徒が能勢・豊能地域外からの入学となりました。能勢町に新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。



里山留学がスタートしています！

4月より、能勢町住民の方々にご協力いただき始まった里山留学ですが、今年度は新1年生3名がこの制度を利用し、能勢町で下宿しています。まだ2か月しかたっていませんが、里山留学の感想を聞いてみました。

《里山留学1期生・曾我部史夏くん》

私は今まで大阪市内から出たことがありませんでしたが、能勢町・能勢分校に興味を持ち、入学を決め、現在吉水さん宅に下宿し通学しています。能勢の方はやさしく、何事にも前向きで、能勢町のことを考えている方が多いと感じました。将来は能勢町の活性化に役立ちたいと考えていますので全力で頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします！

《曾我部くんの里山ファミリー・吉水さん》

能勢に移住して20年。農家ではありませんが下宿生と植樹や田植え体験をしました。体験後はキラキラ輝く笑顔が見られました。



下宿受入家庭募集中！

能勢町外からの入学者の増加をめざし、新規の下宿先を募集しております。少しでも気になった方は、お気軽にご連絡ください。

能勢町教育委員会 学校教育総務課

☎072-734-2693

sidou@town.nose.osaka.jp

民間より准校長先生就任！！



令和3年4月1日、本校に新しい准校長先生が着任しました。菅原 亮（すがわら りょう）先生です。HPに入学式での式辞が掲載されていますのでご覧ください。次号ではさらに掘り下げて紹介します。

〇〇准校長先生から高校生へキャリア学習〇〇

5月18日（火）に1年生、24日（月）に3年生、31日（月）に2年生へと、それぞれの学年に向け、准校長先生がGS課題探究基礎講座の中で、『キャリア学習』についての授業を行いました。1年生「進路選択に向けた第一歩」、2年生「進路への想いを強くする」、3年生「社会人として活躍するために今できること」とそれぞれの学年での講義をしました。准校長先生の民間企業での様々な経験やその分析から、「いかに生きるか」を考える、有意義な時間となりました。講義のあとに准校長先生の進行でワークショップを行い、各学年の生徒が自分の未来設計を描きました。



文部科学省指定

「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」(グローバル型)事業特例校(2年目)

昨年は全国ユース環境活動発表大会において近畿大会で最優秀賞を受賞し、全国大会へと参加しました。全国高等学校グローバル探究オンライン発表会では日本語発表が銅賞、英語発表が銀賞を受賞しました。

今年度も能勢版シュタットベルケをさらに進めるべく、能勢町の活性化に向けて環境や交通課題などについて課題探究を進めていきます。

昨今のコロナ禍から海外に行くことは困難ですが、過去の留学生たちやオイスカアブラ研修センター(フィリピン)とのオンライン交流や、本校にいる留学生と意見交換を行うなど、能勢分校のグローバルな取組みを進めていきます。



SGH(スーパーグローバルハイスクール)ネットワークへの参加

本年度より3年間、過去のSGH校からなるSGHネットワークに参加することとなりました。これにより、全国のSGH参加校などとの交流会、全国高校生フォーラムやSGH甲子園などに参加します。今年度も町内での活動はもとより、様々な探究活動について、HPなどで順次発信していきます。

令和3年度 GS 課題探究講座始まりました

- 令和3年4月16日(金) 3年GS課題探究重点講座「課題探究GS」
- 講師：矢立氏、井上氏(能勢町総務課)
- 「豊中高校能勢分校×能勢町役場『つなぐ』～能勢町の行政の仕組みと課題～その1」



今年度の課題探究は「地域に開かれた課題探究」をめざし、地域課題を発見しグローバルな視点を加味し探究を深めます。初回は能勢町総務課の方にお越しいただき、町行政の仕組みと取組みをお話しいただきました。大きくは役場組織から、住民の目には触れにくいライフステージに沿った支援策の実施や政策実現にむけた取組みなどのお話でした。その後ディスカッションやQ&Aで、多くの質問が出ました。今後も地域の様々な方々と協働していきます。

- 令和3年4月23日(金) 3年GS課題探究重点講座「課題探究GS」
- 講師：百々氏、濱氏、矢立氏、井上氏(能勢町総務課)、川本氏(能勢町教育委員会)
- 「豊中高校能勢分校×能勢町役場『つなぐ』～能勢町の行政の仕組みと課題～その2」

2週続けて能勢町役場の方にお越しいただきました。前回の高校生の意気込みが伝わり、今回は総務課から4名、教育委員会からも1名来校いただきました。各グループに役場の方々が入られ、Q&Aやディスカッションを進め、高校生の疑問に対しその場でいねいに説明していただきました。

「この課題探究は町の中であってこそ動くものだ。高校生の意見は貴重と考えている。町のイベントなどにも是非反映させていきたい」と職員の方からも積極的な声をいただいています。



能勢分校が東京大学等と共同研究します！

- テーマ：中山間エリアの高校通学における交通課題の解決と教育的効果の測定
- 研究代表者：北村友人教授(東京大学大学院教育学研究科)
- その他大学：大阪大学、大阪市立大学、九州大学、富山大学、宇都宮大学、他
- 連携機関：能勢町役場、(株)能勢・豊能まちづくり

本校へ通学する町内の生徒の多くが、通学手段として自転車を利用しており、安全面において山間エリア特有の多くの課題があります。その問題を解決するべく、生徒が中心となって交通課題について考え、取り組んでいくプロジェクトが立ち上がりました。

今回、このプロジェクトが国際交通安全学会に採択され、様々な大学から集まった先生方と生徒が、共に研究を行います。

具体的なアプローチは、通学が困難な生徒へのe-bike(電動アシスト付きスポーツバイク)の貸出や通学路の整備などです。高校生が中心となることで、能勢町全体の交通課題解決の糸口になることを期待します。



留学生千一の活躍！



昨年11月から長期留学生としてマレーシアから本校へ来ているチーが、各学年の国際交流授業の中で、マレーシアについてプレゼンテーションを行いました。歴史、民族、宗教、言語、食文化について、動画やクイズを交えながらわかりやすく紹介しました。

チーは中国系マレーシア人で、マレーシアの旧正月の祝い方について特に詳しく話がありました。また、小学生のころから毎朝3時に起床して、バスで国境を越え、シンガポールの学校へ通学していたそうで、驚きの声が上がっていました。

マレーシア、中国、シンガポールにルーツのあるチーの話はとても興味深く、プレゼンテーション後は生徒から多くの質問があがっていました。

チーは能勢小中学校でも英語活動の中で交流をしており、これは次号で紹介します。



今年も2名の留学生がやってきます！



カンボジア

コロナ禍で世界中が大変な状況の中、日本へ留学したい！という熱い想いを胸に、今年も2名の留学生が能勢分校へやって来ます。9月5日から3月13日(約6ヶ月間)、カンボジアより女子留学生が、9月下旬から12月下旬(約3ヶ月間)にはスペインより女子留学生が来日し、能勢分校生と一緒に学校生活を送ります。

どちらの留学生もホストファミリーが決定しました！

充実した留学生活が送れるよう願っています。



スペイン